

沖縄鉄軌道・計画案策定プロセス検討委員会
第1回委員会

議事要旨

- 1 日時：平成26年10月14日（火）
10：00～12：00
- 2 場所：県庁11階第1・2会議室
- 3 出席者
 - (1) 委員
沖縄弁護士会 弁護士 玉城 辰彦
沖縄国際大学 法学部教授 前津 榮健
東京大学公共政策大学院 特任准教授 松浦 正浩（テレビ電話にて参加）
東京工業大学大学院 総合理工学研究科 教授 屋井 鉄雄
 - (2) 事務局
沖縄県政策参与 堀 一
沖縄県企画部長 謝花喜一郎
沖縄県企画部企画振興統括監 具志堅 清明
沖縄県企画部交通政策課長 嘉数 登
沖縄県企画部交通政策課公共交通推進室長 真栄里 嘉孝
- 4 主な議題
 - (1) 設置要綱について
 - (2) 委員長の選出
 - (3) 計画検討プロセスと体制のあり方について
 - (4) 今後の進め方について
- 5 議事概要
 - (1) 設置要綱について了承が得られ、事務局推薦により屋井委員を委員長として選出。屋委員長からは、鉄軌道の構想段階のPIの導入プロセスとしては、沖縄の鉄軌道が初めての取組となるとの発言がなされた。
 - (2) 屋井委員長指名より副委員長として前津委員が指名された。
 - (3) 計画検討プロセスと体制のあり方、ステップ1のPI及び次回委員会開催までの今後の進め方については、事務局からの説明の後、意見交換がなされ、大枠の基本方針について、概ね了承された。
 - (4) 検討委員会での主な意見は以下のとおり
 - (ア) ステップ2以降の情報提供にあたっては、メッセージを受け取る側が実感できる問題との関係を明確にし、切迫感、緊張感が伝わるよう出し方を工夫する必要がある。
 - (イ) 土地利用や他の交通機関、沖縄を取りまく環境や国内外のニーズを踏まえた計画検討を行う必要がある。
 - (ウ) 技術検討委員会の委員については、透明性を持った委員選定を行う必要がある。

- (エ) 情報提供が一方通行とならないように、また、鉄軌道の利用者となる学生や子供達にもわかりやすいようコミュニケーションを工夫する必要がある。
- (オ) 情報共有の目標設定、認知度把握等について検討を行う必要がある。